



たより

第30回川合町川遊び大会

8月18日（日）午前中に、「第30回かわいの川遊び大会」を開催しました。平成7年に、第1回を開始して以来30回という記念の回数を重ねてきました。多くの参加者と地域とスタッフの皆さまのご理解ご協力で継続できたものです。自然の河川で行うと、子どもたちも楽しさが溢れて賑わい喜んで元気一杯に水にたわむれました。

当日は、約130名が参加しました。暑い日差しの下開会式を行い、合図の打ち上げ花火で全員が川の特設会場に入り逃回るアユやヤマメを追いかけて楽しんでいました。子どもたちも今日は、豪華利用券が当たりました。今年も、事故もなく終えました。スタッフの皆さん、関係者の皆さんありがとうございました。



川合町川遊び大会実行委員会
川合まちづくりセンター



川合町盆踊り大会

8月14日（水）、川合まちづくりセンター裏の憩いの広場で川合町盆踊り大会を開催しました。周知不足を懸念していましたが、多くの参加者が来られ、地元の方との交流も出来大変有意義な盆踊り大会だったと思います。

8月14日（水）、川合まちづくりセンター裏の憩いの広場で川合町盆踊り大会を開催しました。

周知不足を懸念していましたが、多くの参加者が来られ、地元の方との交流も出来大変有意義な盆踊り大会だったと思います。

通いの場

7月24日は、大田市危機管理課・幸村卓己さん所について学びました。スライドは、阪神淡路大震災救援活動から始まり、6年前の大田市での地震災害の映像。参加者の表情は真剣そのものでした。警報が出ても、目に見える危険がないと人は行動を起こしません。洪水や大雨、地震同様、まだ大丈夫だと思っているうちに避難が遅れてしまう。できるだけ可視化できる情報が必要であると幸村さんは強調します。大田市のハザードマップを使いながら、地震や洪水が起きた時に、自分はどこに避難すればいいのかなど丁寧に教えてくれました。

《9月の予定》

- ◆9月4日（水）体力測定
- ◆9月11日（水）誕生会・ミュージックケア
- ◆9月18日（水）バスレク「しまね花の郷」
- ◆9月25日（水）健康体操・歌と音楽鑑賞

【参加者募集】

通りの場では、新規の参加者を募集中です。いつまでも元気に暮らせるよう、一緒に楽しく介護予防に取り組みましょう。概ね80歳以上の方が対象ですが、75歳以上の方も相談にのります。参加希望の方は、川合まちづくりセンター内、担当石田富美子（電話82-15124）迄ご連絡ください。

【お願い】

不要になつた車椅子が自宅にあれば、「通りの場」に譲ってください。

川合地域ききえあい協議会

伝承します川合の文化財

川合町文化財めぐり③

坂根幸夫

吉永の地蔵等2（家中）

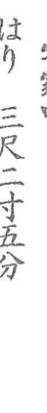
吉永の家中（かつちゅう）は、新具蘇姫命神社から自治会館までの集落で、加藤のお殿様や家臣が住んでいた地域です。



新具蘇姫命神社北側からソーラーパネルに向かって行く途中に、平井さんのお墓があります。その墓所の中にお地蔵様が2体あります。古い墓が集められた所に一緒にあります。

吉永の家中（かつちゅう）は、新具蘇姫命神社から自治会館までの集落で、加藤のお殿様や家臣が住んでいた地域です。

安濃郡吉永村上組史跡調（石東史叢10号：松井範政・S46発行）に



◆歓迎堂　宇家中

析 四尺壱寸 はり 三尺二寸五分 高さ 五尺二寸

析 四間 本堂 はり 二間半 高さ 壱丈壱尺

析 四間 はり 二間半 高さ 壱丈壍尺

お地蔵様だということです。
以前は家中内の道沿いの敷地にあったものを今この場所に移されたとお聞きしました。

根宜さんのお宅の入口道路脇に御堂に入ったお地蔵様があります。今はお地蔵様の形を留めていませんが、この地に家を建てられたときに設置されたとのことでした。

根宜さんのお宅の入口道路脇に御堂に入ったお地蔵様があります。今はお地蔵様の形を留めていませんが、この地に家を建てられたときに設置されたことでした。

盆のソフトボール大会

8月14日(水)、猛暑の中第49回川合町民ソフトボール大会が川合小学校グラウンドで開催されました。が、それでも選手のみなさんは暑さに負けることなく一生懸命プレーをしました。

結果は次の通りです。

1回戦 市18対4神領
準決勝 南6対1吉永上

市16対3程原
決勝 市5対3南

川合まちづくりセンター

令和6年8月22日



川合分団「火の用心」

*全国統一標語

『火を消して 不安を消して つなぐ未来』

『火の用心・その1』

・9月1日は『防災の日』です。

大正12年9月1日 午前11時58分

発生の関東大震災を教訓として制定される。

・8月30日～9月5日は『防災週間』です。

災害等の情報や気象情報に关心を持つこと！

『火の用心・その2』

7月上旬に島根県を襲う大雨が降り、東部地域を中心として洪水やガケ崩れが発生しました。

これの影響で、大社から日御崎に向かう県道の海側が崩壊した影響で通行止めになり日御崎地区を

が孤立しました。このような状況は、場所・時間・規模等々は誰にも分かりません。とは言つものの、

自分の周辺で不安な場所や建物は平常時に対策を行い、最小限度でも対策をしておくことです。

例え、側溝は水の流れを良くしておくことや崩

れそうな個所は土のうを積んで杭で止める。飛散

しそうなものは、補強をしておくこと等々です。

『火の用心・その3』

災害発生時の、避難の必需品は家族で

話合って「避難必需品チェックリスト」を作成して、非常袋に保管しておきましょう。参考までに必需品は、必ずいるもの。必要に応じて

いるもの等に分けて選ぶことです。入れるものは、両手を自由にできるリュック等を使用して家族

皆の分かる場所に置くことです。重きの目安としては、男性は15Kg・女性は10Kgです。



投稿欄

あつちこつちいく隊 II

あつちこつち その184

『散歩の1』

先日知合いの某駐在所に行つたとき、針金で製作した小さな自転車を目にしました。

『ここがなことするかな?』と聞くと、「別の駐在員が作ったのですわ」と聞かされました。

その人とも面識があり、体格の割(決して差別ではありません。手先が器用です)に細かい作業が出来るものだなと思ひ感心しました。思わず、写真を撮りました。(比較は500円玉)

『散歩の2』

ジジ馬鹿?今まで投稿して一番の喜びは中学

3年生の孫が義務教育期間の集大成として、今夏の柔道島根県大会男子の部で個人と団体で優勝しました。20日から、長野県で全国大会が開催されます。

島根県勢として、上位を目指して頑張つて

欲しいものと応援しています。200回以上投稿

しましたが、一つ位は自慢話を掲載しても良いか

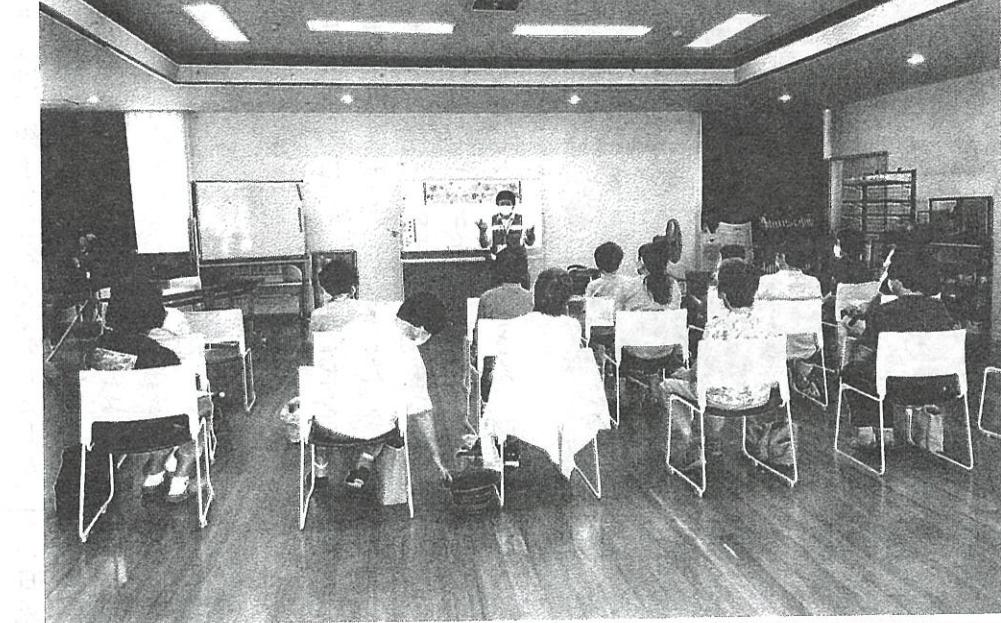
な思い投稿しました。孫からジジへ、喜寿の嬉しい贈りものです。

いこいの広場草刈り

7月28日(日)、盆踊り大会を控えて、憩いの広場の草刈りをJ.A女性部のグランドゴルフ同好会・老人会のグランドゴルフ同好会・そして盆踊り保存会のメンバーで行いました。

早朝でありながら暑い中みなさん一生懸命草刈りをしていただきまして、おかげできれいになりました。盆踊りを迎えることが出来ます。

参加された方、ありがとうございました。



○秋の交通安全運動

9月21日(水)～30日(金) 10日間

運動期間中は、交差点等街頭で児童・生徒の通学の安全確保と指導・交通安全啓発の立哨を行いました。歩行者・車両の運転者共々、お互いに譲り合いの精神で交通ルールを守つて交通事故の減少に努めましょう。安全運転を宜しくお願ひします。

川合町交通安全協会川合支部

川合町少年補導委員会

川合町安全連絡協議会

川合町安全連絡協議会と少年補導委員会で、夏休み恒例の夜間パトロールを7月26日(金)から8月23日(金)にかけて午後9時から5回実施しました。参加者は、小学校・中学校のPTA・民生児童委員、みまもりたい・青パト隊・小学校・駐在所の皆さんです。川合小学校児童のいる池田地区も、この期間中に1回目と5回目の2回巡回しました。また、14日(水)は盆踊り会場の周辺を巡回しました。参加された皆さん、夜間パトロールご苦労さまでした。長い活動も、一灯継続で活動して安全安心の明りです。

さわやかレディース

7月25日(木)、2回目のさわやかレディースを開催しました。前半は「交通安全と特殊詐欺について」交通安全アドバイザーの森山茂幸先生からお話をしていただきました。特殊詐欺についてはいろいろな事例を用いておはなしやすく参考になりました。また後半は好評だったボッチャを市社協の大迫真佐彦先生の指導のもと、楽しく競技しました。

秋の全国交通安全運動

毎日「暑いな」と、いう日々が続いています。自動車を運転中は、エアコンを掛けています。歩行者・車両の運転者共々、お互いに譲り合いの精神で交通ルールを守つて交通事故の減少を努力して下さい。8月下旬から、学校も2学期が始まりますので、児童・生徒の登下校時にはいえ安全運転に留意して注意が散漫にならないようにして下さい。走行には十分注意しましょう。交安協川合支部も、街頭に立つて安全確保・指導に努めます。

川合まちづくりセンター

令和6年8月22日

川合分団「火の用心」

*全国統一標語

『火を消して 不安を消して つなぐ未来』

『火の用心・その1』

・9月1日は『防災の日』です。

大正12年9月1日 午前11時58分

発生の関東大震災を教訓として制定される。

・8月30日～9月5日は『防災週間』です。

災害等の情報や気象情報に关心を持つこと！

『火の用心・その2』

7月上旬に島根県を襲う大雨が降り、東部地域を中心として洪水やガケ崩れが発生しました。

これの影響で、大社から日御崎に向かう県道の海側が崩壊した影響で通行止めになり日御崎地区を

が孤立しました。このような状況は、場所・時間・規模等々は誰にも分かりません。とは言つものの、

自分の周辺で不安な場所や建物は平常時に対策を行い、最小限度でも対策をしておくことです。

例え、側溝は水の流れを良くしておくことや崩

れそうな個所は土のうを積んで杭で止める。飛散

しそうなものは、補強をしておくこと等々です。

『火の用心・その3』

災害発生時の、避難の必需品は家族で

話合って「避難必需品チェックリスト」を作成して、非常袋に保管しておきましょう。参考までに必需品は、必ずいるもの。必要に応じて

いるもの等に分けて選ぶことです。入れるものは、両手を自由にできるリュック等を使用して家族

皆の分かる場所に置くことです。重きの目安としては、男性は15Kg・女性は10Kgです。

